

令和元年度 河辺雄和商工会 戦略・施策・事業評価結果の概要

令和元年9月27日

河辺雄和商工会

1 評価の実施

当会のアクションプログラムを構成している5つの戦略、8つの施策、16の事業について、「商工会創生プランに係る戦略・施策・事業評価の実施要領」に基づき、事業→施策→戦略の順に評価を実施しました。

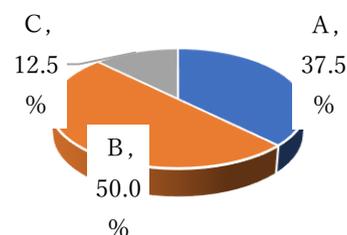
その後「商工会事業に会員の声を反映」させることを目的として、外部委員も交えた評価委員会で評価結果を検証しています。

2 評価結果の概要

■ 評価結果

16の事業のうち、**A判定6事業 (37.5%)**、**B判定8事業 (50.0%)**、**C判定2事業 (12.5%)**

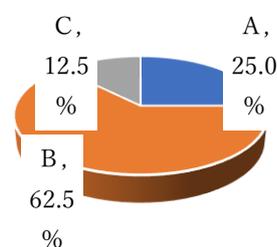
「課題抽出調査」「チーム支援」「OJTの推進」「広域連携」などで年度目標を達成しています。農業者会員数は着実に増えていますが、「農業者会員に対する施策の活用支援」に課題を残しています。



この結果を踏まえ

8つの施策のうち、**A判定2施策 (25.0%)**、**B判定5施策 (62.5%)**、**C判定1施策 (12.5%)**

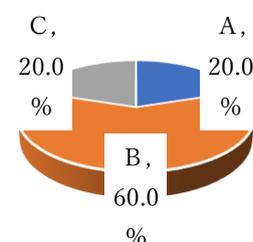
「個社支援強化のための支援体制づくり」「広域連携による効率性の高い事業の構築」などで年度目標を達成しています。「地域の強みを最大限に活かしたビジネスチャンスの拡大」は成果を出していますが、目標に達しませんでした。



この結果を踏まえ

5つの戦略のうち、**A判定1戦略 (20.0%)**、**B判定3戦略 (60.0%)**、**C判定1戦略 (20.0%)**

「機動的・効率的な商工会」は順調に年度目標を達成しています。「育て・挑戦を支える商工会」は、順調に目標を達成している施策もありますが、目標に達しない施策もあり、C判定となっています。



プログラム全体としては、
「概ね順調」と言える。

■ 評価結果の活用

評価結果は、アクションプログラムの今後を検証する材料とし、次年度事業計画へ反映させ、プログラムの目的達成に活用します。